

1999年「がんばろう―柏木家の人々―」。  
 2000年「古渡（こわた）り峠」。  
 2001年「権兵衛―荒畑家の人々―」。  
 2003年「風雲児マンショ―大海賊と天正遣欧少年使節―」。  
 2004年「蜂ノ巣城―2002年中津江村より―」。  
 2005年「初代司法卿―江藤新平―」。  
 2006年「戊辰戦争―2006年春 上野不忍池ホテルにて―」。  
 骨太な筆で時代と人間を描き続ける岡部耕大が、  
 ついに「種田山頭火」を捉えた。

岡部企画・紀伊國屋書店提携  
 岡部企画・プロデュース 49

# たむけらい

## 種田山頭火の生涯

酒乱、だらしない、どうしようもない、  
 利己的、冷酷、甘え、情緒、狡さ、保身。  
 どうしようもない山頭火が歩いている。

山頭火は1882年防府の大地主の長男として生まれ、旧制中学時代から俳句や文芸を好んだ。東京の政界では維新の主役を担った「薩長閥」が幅を効かせていた。貧しい家に生まれた木戸信介は苦学をして政治家を志す。強引な手法で政界を上り詰めていく。山頭火は漂泊の旅を始める。43歳であった。日本は強国へとなっていく。妻子を捨て、世間を捨て行乞の人生を送り自己に偽らず、自然と一体になって自由に一筋の道を誦い続けた山頭火は生涯約8400句を読み捨てた。祖母、母、妻、妹、知人の妻。多彩な女性が山頭火を励まし叱咤し通り過ぎる。「わしの不幸は嫁を娶り、子供を生んだことなんだ」。

一方、信介は政界のトップへと登り詰める。四国遍路に旅立つ山頭火は選挙の応援に四国を訪れていた信介と再会する。信介は山頭火をあざ笑い、金をばらまいて拾えという。山頭火は微笑みながら金を拾う。二人の間答が始まる。山頭火には挫折感が漂う句が多い。「他人からなんといわれようが、ほんとうに自分が好きなことを一生懸命やつて自分の生き方をまっとうした」のが山頭火であるといわれる。そして、山頭火は念願のこころり往生を遂げる。昭和15年。日本が軍国主義一色に染まっていた時代である。信介は東京駅で暗殺される。

- スタッフ**
- 作・演出/岡部耕大
  - 作曲/野間哲
  - 音楽/錢騰浩
  - 振付/牧勢海
  - 美術/寺岡崇
  - 照明/西尾憲一
  - 音響/齋藤英士
  - 衣裳/松竹衣裳
  - 宣伝美術/岡部萌子
  - 写真/山本悟正
  - 演出助手/野中弘一
  - 舞台監督/上林英昭
  - 制作/岡部企画
  - 制作協力/(有)ウィズ・ユー オフィスDAY

**出演**

 高橋広司	 石見榮英	 小池雄介	 小澤俊明	 服部博行	 岡部大吾	 いわいのふ健	 寿大 聡
 入江杏子	 松尾あぐり	 瀬戸千夏	 久我千代	 牧勢 海	 演奏/錢騰浩 <small>フェンタムハン 中国の堂・管</small>	 藤田三保子	

日時	8 金	9 土	10 日	11 月	12 火
13:30 開場		◆	◆		◆
14:00 開演					
18:00 開場	◆			◆	
18:30 開演					

**5月1日(火)発売開始 全席指定**

【一般】 税込 4,500円

【ペアチケット】 税込 8,600円  
(岡部企画扱い/要予約)

【グリーンチケット】 税込 2,500円  
(岡部企画扱い/18歳以下)

お申込・お問合せ ●岡部企画 044-933-9754 E-mail:nana5years@yahoo.co.jp

●電子チケットのみ [pia.jp/t](http://pia.jp/t)  
0570-02-9988 (オペレーター対応)

●ローソンチケット  
0570-000-407 (オペレーター対応)  
【Pコード予約】  
0570-02-9999 (Pコード376-559) 【Lコード予約】  
0570-084-003 (Lコード37790)

●イープラス <http://eee.eplus.co.jp> (パソコン・携帯)

●キノチケットカウンター 店頭販売のみ (新宿東口・紀伊國屋書店本店5階)

2007年6月8日(金)~12日(火)  
 新宿東口 紀伊國屋ホール

紀伊國屋書店  
 新宿本店4階

■「新宿」駅東口下車 徒歩5分  
 ■地下鉄丸の内線、都営新宿線「新宿三丁目」駅下車B7・B8出口

TEL 03-3354-0141

企画・制作/岡部企画

TEL.044-933-9754 〒214-0031 神奈川県川崎市多摩区東生田1-12-7  
 URL <http://www3.plala.or.jp/koudai/> E-mail nana5years@yahoo.co.jp

